

1 背景と現状

再開発事業に併せ多様な業種の店舗の導入を図るも、通勤(朝夕)のみ利用が多いため、居酒屋の出店に偏り、昼間の人通りが少なくにぎわいが感じられない。

● 駅利用者

昼間利用可能な店舗の出店を求める声がある

● 建物所有者

家賃収入を得るためには、出店希望のある居酒屋に貸すしかない

● 出店希望者(居酒屋以外)

人通りが少なく、初期投資の回収を含め収益を回収できる見込みが低いことから、出店に二の足を踏んでいる？

3 実現したい未来

平日・休日に関わらず、多くの来街者でにぎわいが感じられるまちにしたい。

負のスパイラル

昼間の人通りがない
(朝夕(通勤)しか人がいない)

昼間に利用できる店舗がない
(居酒屋に偏った出店)



2 解決したい課題

昼間に利用できる店舗を増やし、人通りを増やしたい

4 想定する解決策や技術

シェアレストラン支援マッチングサイトの作成や、AIカメラを用いた人流分析を行うことで、現状把握と昼間の営業の実証実験を繰り返し行い、その結果を用いて効果的な場所での昼間の出店を誘致していく。